

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表・・・(別紙2-4)

(別紙2-4)

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

| | | | | | |
|------|-------------------------|-----|--------|-----------------------|--|
| 法人名 | 社会福祉法人 IGL 学園福祉会 | 代表者 | 永見 憲吾 | 法人・ 事 業所 の特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ・隣人愛の理念に沿って地域の馴染みの方々と安心して生活が送れるよう支援します。 ・もてなしの心でお一人お一人に向き合い、出来る事を支えるケアを心掛けます。 |
| 事業所名 | IGL 小規模多機能型 居宅介護西風新都 | 管理者 | 大原 めぐみ | | |

| | | | | | | | | | | |
|-----|-------|----------|-----------|-----|-------|------------|-------|-------|-----|----|
| 出席者 | 市町村職員 | 知見を有するもの | 地域住民・地域団体 | 利用者 | 利用者家族 | 地域包括支援センター | 近隣事業所 | 事業所職員 | その他 | 合計 |
| | 人 | 人 | 2人 | 人 | 人 | 1人 | 2人 | 人 | 人 | 5人 |

| 項目 | 前回の改善計画 | 前回の改善計画に対する取組み・結果 | 意見 | 今回の改善計画 |
|----------------|---|--|--|--|
| A. 事業所自己評価の確認 | 再度、もてなしの心で来て良かった、楽しかったと思ってもらえるように言葉かけや態度など接遇を心掛ける。一つ一つの動作に丁寧な対応に努める。 | 自己評価の平均は、87%でおおむねよくできている、何とかできているが平均87%、100%が、91%が3項目、72%が2項目、64%が1項目ではらつきが大きかった | 5名の評価者全員、事業所自己評価の取組を確認できたと評価をいただいた。 | <ul style="list-style-type: none"> ・人生の先輩であることを忘れず、尊厳の保持や自己決定に配慮した、丁寧で親切な接遇を心がける。 |
| B. 事業所のしつらえ・環境 | 来訪された方々が、不快な気にならないように、継続して掃除する | 定期的な換気やマスク装着、施設内消毒等、感染対策は厳重に行った。清潔な環境や臭い対策はスタッフ全員で取り組んだ。それぞれの利用者に応じ、ソファを置き、ラジオ・動画鑑賞等利用し、くつろげる環境の工夫をした。 | 5名の評価者のうち3名は、前回の改善計画に取り組んだと評価されたが、2名はわからないとの評価であった。その他の事業所に入りやすい仕組みや居心地の良い空間、不快なし、鍵の施錠はすべての評価者で確認できたとされた。 | <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶や笑顔を絶やさず、来訪者や利用者の方々が居心地よく思っていただけの施設を目指す。 ・整理、整頓、掃除を徹底する。 |
| C. 事業所と地域のかかわり | <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染症に配慮しながら、地域に開かれた事業所になる ・他事業所との連携をこまめにとっている | 以前より地域のコミュニティに参加されている方は継続して活動して頂けるよう支援した。独居の方の地域でのトラブルがあった時は、連絡を受け駆けつけ対応し、家族に連絡して安全確保した。 | 5名の評価者のうち3名は、前回の改善計画に取り組んだと評価されたが、2名はわからないとの評価であった。職員のあいさつは全員か確認できたが、地域の知名度は2名、相談しやすいは2名、評価された。地域のイベントは5名全員わからないと評価された | <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ等感染症の予防策を講じながら、地域の方々と触れ合う機会を持つ |

| | | | | |
|-------------------------|---|---|--|--|
| D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み | <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ対応を継続しながら、ボランティアに出かけて地域の方々と交流する | <p>独居の方の自宅の必需品や食事等、買い物同行や通院の同行等、定期的に支援した</p> | <p>5名の評価者のうち4名は、前回の改善計画に取り組んだと評価されたが、1名はわからないとの評価であった。そのほかはわからないと評価された項目があった</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・地域の活動に参加することが難しいことがあるが、外にドライブに行くなど外出する機会をもち地域の活動にも参加していく。 ・感染対策を行いながら、地域住民ともかかわりの機会を検討している |
| E. 運営推進会議を活かした取組み | <p>2か月に一度運営推進会議を開催し、報告を行っていく</p> | <p>利用者、家族の参加はまだ控えて頂いたが来年度は、近隣の出席可能な方々と共に、運営推進会議が再開となった。それぞれの経過や悩み等、話し合う機会が持ちたい。</p> | <p>5名の評価者全員、運営推進会議改善計画に取り組んだと評価をいただいた。そのほかの取組は、されているとわからないが半々であった。</p> | <p>2か月に一度運営推進会議を開催し、報告を行っていく。来年度は、家族や利用者の参加していただけるようにする。</p> |
| F. 事業所の防災・災害対策 | <p>BCP（業務継続計画）自然災害編とコロナ感染症編のマニュアルを作成し、全職員対象に伝達研修と机上訓練を行っています</p> | <p>コロナ感染症も5類になり標準的感染策の継続と、蔓延時の対応を行った</p> | <p>事業所の防災・災害対策改善計画に取り組んだと評価はわからないが半々であった。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・年に2階の研修を継続する。 |

